



第24回「石橋湛山記念 早稲田ジャーナリズム大賞」
ファイナリスト作品選出



早稲田大学（東京都 新宿区、総長 田中愛治）は、このたび、第24回「石橋湛山記念 早稲田ジャーナリズム大賞」のファイナリスト作品として、選考委員会の厳正な審査を経て次の12作品を選出いたしました。

第24回となる本年度は、2024年4月16日から5月31日までの募集期間中に、146作品の推薦・応募がありました。

ファイナリスト 12作品 ※応募・推薦受付順

ファイナリスト作品①

候補作品	映画「ヤジと民主主義 劇場拡大版」
候補者	山崎 裕侍
発表媒体	劇場公開

ファイナリスト作品②

候補作品	ラジオと戦争 放送人たちの「報国」
候補者	大森 淳郎
発表媒体	書籍（NHK出版）

ファイナリスト作品③

候補作品	ETV特集 膨張と忘却 ～理の人が見た原子力政策～
候補者	ETV特集「膨張と忘却」取材班 代表：石濱 陵
発表媒体	NHK Eテレ

ファイナリスト作品④

候補作品	硫黄島上陸 友軍八地下二在リ
候補者	酒井 聡平
発表媒体	書籍（講談社）

ファイナリスト作品⑤

候補作品	長期連載「憲法事件を歩く 理念と現実のはざままで」
候補者	渡辺 秀樹
発表媒体	信濃毎日新聞朝刊、信濃毎日新聞デジタル

ファイナリスト作品⑥

候補作品	「子どもへの性暴力」
候補者	朝日新聞「子どもへの性暴力」取材班 代表：大久保 真紀
発表媒体	朝日新聞、朝日新聞デジタル

ファイナリスト作品⑦

候補作品	NHK スペシャル・ETV 特集「“冤罪”の深層」シリーズ
候補者	NHK スペシャル・ETV 特集「“冤罪”の深層」シリーズ 取材・制作班 代表：石原 大史
発表媒体	NHK 総合テレビ・Eテレ

ファイナリスト作品⑧

候補作品	「でくのぼう ～戦争とPTSD～」
候補者	伊藤 翼
発表媒体	山形放送（YBC テレビ）

ファイナリスト作品⑨

候補作品	QAB 報道特別番組「誰のために島を守る ～自衛隊配備 その先に～」
候補者	塚崎 昇平
発表媒体	琉球朝日放送

ファイナリスト作品⑩

候補作品	映画「ちやわんやのはなし -四百年の旅人-
候補者	松倉 大夏
発表媒体	劇場公開映画（ポレポレ東中野、第七藝術劇場、他全国公開）

ファイナリスト作品⑪

候補作品	NHK スペシャル「いのちを守る学校に ～調査報告・“学校事故”～」および継続報道
候補者	NHK スペシャル学校事故取材班 代表：近江 真子
発表媒体	NHK 総合テレビおよび NHK ホームページ

ファイナリスト作品②

候補作品	正義の行方
候補者	木寺 一孝
発表媒体	映画（ユーロスペースほか全国各地の劇場で上映）

■石橋湛山記念 早稲田ジャーナリズム大賞とは

早稲田大学は、建学以来多くの優れた人材を言論、ジャーナリズムの世界に送り出して参りました。先人たちの伝統を受け継ぎ、この時代の大きな転換期に自由な言論の環境を作り出すこと、言論の場で高い理想を掲げて公正な論戦を展開する人材を輩出することは、時代を超えた本学の使命であり責務です。

「石橋湛山記念 早稲田ジャーナリズム大賞」はこのような背景のもと、社会的使命・責任を自覚した言論人の育成と、自由かつ開かれた環境の形成への寄与を目的として 2000 年に創設され、翌 2001 年より毎年、広く社会文化と公共の利益に貢献したジャーナリスト個人の活動を発掘、顕彰してきたものです。

本賞は、公共奉仕部門・草の根民主主義部門・文化貢献部門の 3 部門を設けております。各部門の大賞受賞者には正賞(賞状)と副賞(記念メダル)および賞金 50 万円を贈呈します。また、奨励賞を贈呈する場合があります。受賞者には正賞(賞状)と副賞(記念メダル)および賞金 10 万円が贈られます。

各部門受賞者には、ジャーナリストを志す本学学生のための記念講座にてご講義いただく予定です。

■最終審査結果および新型コロナウイルス感染症への対応について

最終審査結果発表は 2024 年 11 月中旬の予定です。また、表彰は感染防止拡大予防措置に十分に注意を払ったうえで、2024 年 12 月上旬に贈呈式を開催予定です。

【お問い合わせ先】

「石橋湛山記念 早稲田ジャーナリズム大賞」事務局（早稲田大学広報室広報課内）

TEL: 03-3202-5454 E-mail: koho-jaward@list.waseda.jp

事務局長：湯原法史 担当：永久保・澁谷・新井
以上

ご参考

第 24 回 「石橋湛山記念 早稲田ジャーナリズム大賞」

[募集部門] 公共奉仕部門・草の根民主主義部門・文化貢献部門

[対象作品] 2023 年 4 月 1 日から 2024 年 5 月 31 日までに、不特定多数を対象としたメディアに公表された作品。作品の形式は問いません。

[受付期間] 2024 年 4 月 16 日 ～ 5 月 31 日

[応募総数] 146 作品（前回 155 作品）

[選考方法] 下記 10 名の選考委員からなる選考委員会により、本賞の主旨に照らして、商業主義を廃し、中立公平な立場から厳正な審査を行います。

<選考委員>

梯 久美子：ノンフィクション作家

角 英夫 : 元日本放送協会専務理事・大型企画開発センター長
瀬川 至朗 : 早稲田大学政治経済学術院教授 (ジャーナリズム研究)
高橋 恭子 : 早稲田大学政治経済学術院教授 (映像ジャーナリズム論)
武田 徹 : ジャーナリスト、専修大学文学部教授
土屋 礼子 : 早稲田大学政治経済学術院教授 (メディア史、歴史社会学)
中谷 礼仁 : 早稲田大学理工学術院教授 (建築史、歴史工学研究)
三浦 俊章 : ジャーナリスト
ルーシー・クラフト : ジャーナリスト
若林 幹夫 : 早稲田大学教育・総合科学学術院教授 (社会学、都市論)